

日本クラブ・JCCI NY・SYSCOM共催ウェビナー

AIで変わるサイバー攻撃。会社と事業をどう守る？

経営とITの視点で考える、2026年の脅威と日米セキュリティ規制

11月18日(水) 開催

AIの進化により、サイバー攻撃はこれまで以上に高度化・高速化しています。日本でも大手企業の情報漏洩やサイバー攻撃の被害が相次いで報じられ、その影響は民間企業だけでなく地方自治体などにも広がっています。サイバーリスクは、もはや一部の企業やIT部門だけが対応すればよい問題ではありません。

さらに、米国と日本ではセキュリティやコンプライアンスに関する規制強化が進み、企業には個別の対策だけでなく、経営とITが連携したガバナンス体制の構築が求められています。

本ウェビナーでは、2026年現在のサイバー脅威の最新動向と日米のセキュリティ規制を、経営とITの両方の視点から分かりやすく解説します。さらに、AIを悪用した攻撃の変化と、AIや自動化を活用した防御・セキュリティ対応にも触れながら、これから企業に求められるガバナンスと対策の考え方をご紹介します。

●日にち: 2026年11月18日 (水)

●時間: 2:00pm~3:00pm (ET) / 11:00am~12:00pm (PT)

●アジェンダ:

1. 2026年のサイバー脅威の最新動向
2. AIを悪用した攻撃と、AI・自動化による防御
3. 日米のセキュリティ規制と企業への影響

●対象: 米国で事業を行う日系企業の経営責任者、IT部門責任者

●会場: オンライン開催 (Zoomウェビナー)

●言語: 日本語

登壇者



服部 篤紀

SYSCOM GLOBAL SOLUTIONS INC.
サイバーセキュリティ・コンサルタント

>> 登録はこちら <<